

万が一に備え、各種訓練を実施



都路地区で初となる田村市総合防災訓練が10月5日、防災関係機関と地元協力団体など約700人が参加して行われました。

訓練では台風や大規模地震、原発事故などの過去に起こった災害を想定し、午前7時、市役所に災害対策本部を設置しました。その後、第2訓練会場の都路町古道地区に移動し、避難訓練や炊き出し訓練、避難者救助・救援訓練、初期消火訓練、高層建物救出訓練などを行いました。

また、原子力災害に対応した避難者移送訓練やスクリーニング実施訓練も行われ、参加者は万が一の事態にもスムーズに行動できるよう真剣な表情で取り組んでいました。



秋のあぶくま洞を満喫



秋晴れに恵まれた9月27、28日の両日、「あぶくま洞秋まつり 2014」が開かれ、歌謡ショーやお笑いライブ、アンパンマンショー、ダンスフェスティバルなど、多彩なステージイベントを楽しむ来場者でにぎわいました。

28日に行われた堀内孝雄スーパーライブでは、市内外から訪れた約6千人が「恋唄綴り」や「愛しき日々」、アリス時代の「遠くで汽笛を聞きながら」などの名曲に聴き入っていました。ステージの合間には、富塚市長とラジオ福島の鏡田辰也アナウンサーの生放送中継があり、絶妙なやり取りに会場が沸きました。模擬店コーナーは家族連れでにぎわい、秋空の下、地元の産品をおいしそうに味わう姿が見られました。



田村の魅力を「民謡」で全国に発信



第68回全国レクリエーション大会 2014 福島「日本民謡交流大会」が9月20日、福島市の国体記念体育館で開かれました。

田村市からは、ふるさと民謡会（本田絹子代表）の約50人がお揃いの浴衣で踊り、佃光堂さんが「ふねひき小唄」を披露しました。また、市文化協会の武田亮会長は、ナレーションで田村市のふねひき小唄やあぶくま洞を全国へ発信しました。

パドルテニスを通じて県外と交流

常葉公民館事業成人講座「パドルテニス教室」の受講生22人が、講座の集大成として9月21日に開かれた全国レクリエーション大会 2014 福島「パドルテニス大会」に参加しました。



県内にはパドルテニス協会が無く、受講生の坪井孝幸さんと国馬利江さんが福島県代表に選ばれ、選手宣誓しました。残念ながら決勝には進めませんでしたが、お揃いのユニホームで一致団結し、県外の参加者と交流を深めました。参加者にとって思い出に残る楽しい一日になりました。

相馬の歴史と文化を学ぶ



大越地方史研究会と大越公民館合同主催の歴史探訪「文化財めぐり」が10月4日、相馬方面で行われました。参加者56人は、二宮尊徳の墓がある愛宕山史跡や馬陵公園を巡り、相馬神社や涼ヶ岡八幡神社を参拝。相馬の歴史を肌で感じ、教養を深める充実の1日になりました。

より良い指導のために



福島県スポーツ少年団認定員養成講習会が9月27日と28日の2日間、常葉公民館と常葉体育館で開かれ、県内から集まった約60人の指導者が受講しました。

参加者は、スポーツ少年団の理念や指導の在り方について真剣な面持ちで学んでいました。